

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	施工管理技術者資格対策	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	60時間
単位数	4単位		授業形態	講義			
教科書/教材	初学者の建築講座建築施工　市ヶ谷出版社、必携建築資料　実教出版株式会社、 2級建築施工管理技術検定過去6回問題集　成美堂出版、2級建築施工管理技士学科テキスト　日建学院						
担当教員情報							
担当教員	久本晴一郎			実務経験の有無・職種		有・施工管理	
学習目的							
近年の建設業界における様々な施工不備や施工不良における社会的影響を鑑み、優秀なる施工管理者確保のために有資格者のニーズは高まっている。 施工管理技術者資格対策は、二級建築施工管理技術検定学科試験の合格、並びに合格に準ずる知識の習得を学習目的とする。さらには、卒業後に受験する二級建築士の学科試験、木造建築士の学科試験、建築積算士試験等の合格、並びに合格に準ずる知識の習得、及び、建築業法、建築学、施工管理法なども実務レベルで理解し、卒業後の施工管理業務、施工監理業務に生かせる知識の習得も学習目的とする。							
到達目標							
二級建築施工管理技術検定学科試験の合格のために次の3点を到達目標とする。 ①　二級建築施工管理技術検定学科試験過去問題6回分を8回、繰り返して学習し内容を理解する。 ②　過去問題で90点以上取得することができる。 ③　直前模擬試験で満点を取得することができる。							
教育方法等							
授業概要	過去問題、要点テキストを参照し、年度ごとに重点事項を確認しながら理解を深める。過去問題や厳選過去問題、模擬試験に挑戦、不正解問題の把握、認識の修正を行い、正しい知識を蓄積させる。適宜、質問、疑問点に対応し、不明な知識がないように進める。学習履歴を常に把握できるように、自己管理シートを活用する。						
注意点	問題集、要点テキスト、自己管理シート、管理ファイルを毎回持参すること。特に自己管理シートをしっかりと管理し、毎回提出、担当教員のチェックを受けること。授業時間数の4分の3以上、出席しない者は期末試験を受験することができない。日本工学院　授業心得（学生用）を守ること。						
評価方法	種別	割合	備　考				
	期末テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	各種テスト	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	管理ファイル	30%	自己管理がしっかりとできているか確認するために実施する				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	ガイダンス、施工管理試験の説明			二級建築施工管理技士資格、検定試験内容、試験対策を理解する。			
2回	過去問題解説①			平成27年度過去問の内容について理解する。			
3回	過去問題解説②			平成28年度過去問の内容について理解する。			
4回	過去問題挑戦③			平成29年度（前期）過去問の内容について理解する。			
5回	過去問題解説④			平成29年度（後期）過去問の内容について理解する。			
6回	過去問題解説⑤			平成30年度（前期）過去問の内容について理解する。			
7回	過去問題解説⑥			平成30年度（後期）過去問の内容について理解する。			
8回	過去問題挑戦⑦			平成27年度過去問題を実際に挑戦し90点以上、正解できる。			
9回	過去問題解説⑧			平成28年度過去問題を実際に挑戦し90点以上、正解できる。			
10回	過去問題解説⑨			平成29年度（前期）問題を実際に挑戦し90点以上、正解できる。			
11回	過去問題解説⑩			平成29年度（後期）過去問題を実際に挑戦し90点以上、正解できる。			
12回	過去問題解説⑪			平成30年度（前期）過去問題を実際に挑戦し90点以上、正解できる。			
13回	過去問題解説⑫			平成30年度（工期）過去問題を実際に挑戦し90点以上、正解できる。			
14回	直前模擬試験			直前模擬試験に挑戦し全問、正解できる。			
15回	施工管理技術者資格対策まとめ			理解の到達目標を確認し、本試験に向けての対策ができる。			